

〇〇〇の×××分析

－△△△を対象に－

題名は 14pt, 副題は 10.5pt,
中央揃えで MS ないし JS の明朝

<<1 行あき>>

夏目鷗外*・芥川治**
(* □□大学・**◇◇研究センター)

報告者名, 所属は 10.5pt, 中央揃え
*印は全角で上付, 報告者が 1 人もしくは報告者全員が同じ所属の場合, *印は不要

<<1 行あき>>

I 見出し<<10.5pt, ローマ数字, ゴシック体>>

<<1 行あき>>

1 小見出し<<10.5pt, ゴシック体>>

わが国の大規模水田作経営^{注1)}においては・・・<<本文は, MS ないし JS の明朝体で 10.5pt>>・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・<<句点は丸(。), 読点はカンマ(,)>>・・・・・・・・・・である(佐藤,
2008)。また, 鈴木(2005)によれば, ・・・。

<<1 行あき>>

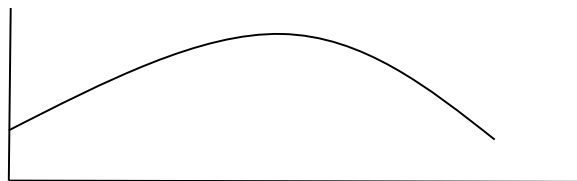
II 見出し

<<1 行あき>>

1 小見出し

<<図表は, 文字が明瞭に読めること>>

ページの書式
左余白: 17mm, 右余白 17mm, 上余白: 27mm,
下余白: 22mm
ページ番号はつけない, A4 判, 42 字×40 行



第 1 図 〇〇の推移<<ゴシック体>>

資料: 『〇〇年報』・・・

<<1 行あき>>

[注] <<10.5pt, ゴシック体>>

<<1 行あき>>

注 1) ・・・<<注は, MS ないし JS の明朝体で 10pt >>・・・・・・・・・・。

注 2) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・。<<注は, 文中の注) で通し番号をつける。>>

<<1 行あき>>

[引用文献] <<10.5pt, ゴシック体>>

<<1 行あき>>

著者名(出版年西暦, 例 2001)「題名」『雑誌名』34(5): 10-19.

<<巻号は, 単に数字のみを表記>>

著者名 1・著者名 2(1999)「章名」編著者名編著『書名』出版社名: 3-15.

<< MS ないし JS の明朝体で 10pt, 句点はピリオド>>

この見本は大会資料用です。大会後に論文, 報告論文として投稿する際には, 当会ホームページ <https://fmsj.jp/> 上の学会誌掲載用の見本にしたがって, 写真製版ができるように書式を必ず替えてください(図表と文献は, はじめから学会誌掲載用の見本になって作成した方が論文の提出が容易です)。